

昭和39年

12

広報 縣の友

毎月1日発行 第320号

発行所 和歌山市小松原通1丁目1番地 和歌山県
発行人 広報課長 前田正毅
印刷所 和歌山新聞社
昭和29年5月28日国鉄特別認証雑誌第2816号



明るい暮らし

明るい生活を営むためには、活動力にみちた、病気のない安らかな生活を築くことがたいせつです。衛生面、民生面においても、県は全力をあげています。

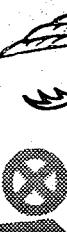
ボーナスはひとまず紀陽銀行へ



紀陽銀行

品質本位

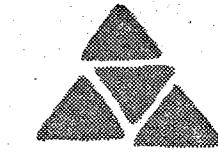
第1・2・3・4回 全国清酒品評会 優等賞受賞



製造元 帯庄酒造合資会社 電話(妙寺) 275

県政'64をふりかえつて

産業基盤



元気
国道四十二号線八五新できる

本県産業の大動脈である国道四十二号線の改良
鋪装は、急いで工事が進められ、現在和歌山
市田辺町は八五新以上の仕上りとなり、来年三月
末までには同間の金線が完全舗装の素晴らしい施
設道路として誕生します。

第二阪和国道も具體化

に狭くなつた阪和国道（国道二十六号線）に対処
するため、阪神経済圏に直結する第二阪和国道の
激増する交通量

當南白浜有料道路が整備しました。さきにきて
いる道路公團自浜有料道路とともに、観光の基盤
が固められたといえるでしょう。

また那智登山道路、加太の大川峠を通る岬と加
太線の県道も完成を間にかに急ピッチの工事が
進められています。

農業を近代化し、農業用地の造成では、海防港の埋立計画中第一、
第二地区約四〇万平方メートルで完成し、第一地区
約一〇万平方メートルは八〇%の工事が完成してい
ます。このうち第二工区を除いて、第二工区は住
友金属と関西電力が進出、第三工区はすでに計
画も着々と進められ、すでに和歌山市井関岬を

が完成しています。

有田臨海工業用地では、第一工区A、第二工区
を合わせ六九・一万平方メートルは完成し、第一工
区Bの三一・四万平方メートルは現在までにその九〇%
を完成させています。

第三工区はまだ最初に実施した四地区の実績と、かつて岬町など最初に実施した
輸出振興をはかるための輸出振興融資制度では、
中小企業組織強化融資制度が、中小企業者の組
織化を促進するなど、よりの自らの力をつけるよう
おりで一般の貸付希望額を完全に満たすことは
できませんでしたが、年未満で一〇〇件約一億七
五〇〇万円の貸付を予定しています。

激増する

第三工区はすでに計

画も着々と進められ、すでに和歌山市井関岬を

に満ちた農民生活の実現をはかる」とあります。
す。そして本年三月に県政運用の指針として、長

う。以下今年の県政を振り返ってみましょう。

ひろがる工業用地

県北部臨海工場地帯における
工業用地の造成では、海防港の埋立計画中第一、
第二地区約四〇万平方メートルはすでに完成し、第一地区
約一〇万平方メートルは八〇%の工事が完成してい
ます。このうち第二工区を除いて、第二工区は住
友金属と関西電力が進出、第三工区はすでに計

画も着々と進められ、すでに和歌山市井関岬を

が完成しています。

計画も着々と進められ、すでに和歌山市井関岬を

が完成しています。

これがなっています。

これがなっています

金・銀・銅メダル十一個

努力と友愛の花ひらく 栄光のパラリンピック七選手

十一月八日から十四日まで、世界

から

三十二か国、国内の四十六都

道府県と沖縄の参加のもとに、東

京代々木競技場ほか五会

各メダル三個をみやびに元気で帰

場で開催されました。

本県からも中平雅景さんら七人

の選手が第二回国内大会に出場し

て大躍進、金メダル五個、銀、銅

メダル二個を獲得しました。

入賞者の成績はつきのとおり。

中平雅景さん(熊野川町)

金メダル 百メートル走(十二秒七)

(大会新記録)

四位 走り幅跳び

北山守典さん(南郷町)

金メダル 百メートル走(十二秒七)

(大会新記録)

五位 走り幅跳び

水泳二十五回自由型

金メダル こん棒投げ

合沢八重子さん(県立うる学校)

金メダル 走り幅跳び

金賞さん(和歌山市金童寺町)

銀メダル 百メートル走

銅メダル 立幅跳び

王廣恭一さん(県立更生指導所)

金メダル 砲丸投げ

高橋禎さん(橋本市国保病院)

四位 百メートル走

五位 走り幅跳び

かくらぎ町農協は、昨年十月、ことこの良好南部地区は、三十八

組合を合併して県下を誇るマ

ンモス農協として発足しました。

その後、果樹生産の近代化をめざ

して「労力を削減する」、「市場性

を高める」、「生産者の福徳増進を

はかる」の三つの目的のもとに、

地図三十八の農場を五ヶ所に

統合しました。

この近代化された施設の金ぼう

をご紹介してみましょう。

延べ二千三百平方㍍の二階建

で、トラックステール三台と遠

果機二式があり、完全オートメー

ションの設備は、一日処理能力百

二十㌧となっています。

地区内各所の集荷所から、この

農場へ運ばれてきたみかんはト

ラックスケールによって出荷量が

測定され、ホッパーにて降ろされま

す。降ろされたみかんは、地下コ

ンベアーよりによって洗浄機に運ば

れ、ワックス処理されたら選別

台で等級別に区分され、昇降機に

よって二階に運ばれます。二階で

は、選果機によって階級別に区分

され、自動的に箱詰め、自動なつ印

アーナーによって自動封かん機で封か

んされたら、タンクセレクターに

にかけられ、さもなくコンベアーに

よって出荷口でトラックに積まれ

るという経路をたどることになります。

このようにして農場を運ばれ

たみかんは、等級別に区分する人

たみかん

